
過去1,000年間における中国東部の湿潤度の気候変動

張 徳二

モンスーンアジアに位置する中国東部では、降水量の年々変動が大きく、地域差も顕著である。歴史文書記録を用いて、過去1,033年間（960-1992A.D.）における中国東部6地域の乾燥・湿潤度を復元し、周期性や急激な変動など、その変動特性について議論した。その結果、2-3年、11年、25年、36年、さらに80年といった現在の気候解析でも認められる周期性が、過去1,000年間にも出現したことが明らかになった。しかし、周期性は時代とともに変化しやすい。また、過去1,033年間において中国東部の2地域以上で100年スケールの気候急変が起こっているが、その時期は1070, 1266, 1345, 1540, 1690, 1898年前後であり、10年スケールでは1217, 1266, 1578, 1644, 1693, 1708, 1899年前後である。このような気候急変は、20世紀以降おこっていない。

National Climate Center,
Beijing 100081, China